

医学部医学科

学位（教育）プログラム名：医学

[教育内容]

- 1) 共通教育科目（第1学年）：国際化に対応するための語学力、医療人としての幅広い教養やコミュニケーション能力、医療人としての体力の育成を目標に、それぞれ、外国語科目、総合教養科目、保健体育科目を提供します。
- 2) 早期臨床医学体験、研究室配属（第1、2、3学年）：低学年時からの臨床医学の入門的講義や早期臨床医学体験実習を通じて、医療における個人情報保護や生命倫理の重要性を修得し、早期から医療人としてのプロフェッショナリズムを育成します。また、研究室配属による研究体験等を通じて、科学的問題に対応する研究マインドを涵養し、研究能力の重要性を学びます。
- 3) 基礎・臨床医学教育（第1、2、3、4学年）：科学、医療の進歩を踏まえ、医療の基盤となる解剖学、生化学、生理学、病理学などの基礎医学、内科学、外科学、放射線医学、検査医学などの臨床医学、公衆衛生学などの社会医学、再生医療等の最新医療の知識を低学年から高学年になるに従い段階的に積み上げ、診療に応用できる総合的な医学知識の修得を目指します。
- 4) 診療参加型実習（高学年：第4学年後半、第5、6学年）：病歴聴取、身体診察、臨床手技など基本的な診察能力や診察所見に基づいた臨床推論を行います。また、適切な医療遂行のために必要なEBM (Evidence-Based Medicine) や医療安全・感染対策の知識、チーム医療の重要性を学び、POS (Problem-Oriented System) を用いて、適切な診療録の記載の仕方やプレゼンテーションのやり方を学びます。また、実習を通じて、患者への共感的態度、説明・同意に基づいた患者の自己決定権の尊重など、医療人としての基本的素養を育成し、同時に、自尊心、向上心、リーダーシップ能力を育みます。

[教育方法]

- 1) 科目別の系統講義、科目間連携による統合講義、医療安全、感染症に関する病院講習への参加により、基礎、臨床知識の縦断的、横断的な習得と医師としての基本的知識を修得します。
- 2) 能動的学修能力の向上のために、小グループによる問題解決のためのPBL (Problem Based Learning) や双方向型授業、シミュレーション学習などのactive learningを提供します。
- 3) 研究室配属による研究体験を通じて、論文査読、レポート作成、発表等の研究マインドの涵養を目指します。
- 4) 模擬患者を通じた疑似医療体験や早期臨床実習（地域基盤型医療体験、病棟看護実習）の体験実習により、実臨床現場の理解と医療者としての自覚を促進します。

- 5) 診療参加型病棟実習により、医療チームの一員として、実際に患者を受け持ち、問診、診察、臨床推論、カルテ記載、症例発表などを体験し、実践的な医療人の育成を目指します。